

平成6年6月13日

委員各位

第219回産業事情検討会

7月度の産業事情検討会を、下記の通り開催いたします。万障お繰り合せのうえ、ご出席下さいますよう御案内申し上げます。なお、お手数ですが、同封葉書にてご出席の有無をお知らせください。

記

テーマ：国際会計基準設定の背景と企業への影響

講師：朝日監査法人 相談役

公認会計士 白鳥 栄一 氏

経済の国際化に伴い、国際会計基準統一の必要性が発生し、これを受けて、同基準がつくられ、欧米諸国企業の一部はすでに導入を進めております。

国際会計基準は、これまで税法を中心として会計を処理してきた日本企業に多大な影響を及ぼすことが予想されます。特に、96年にも導入が予定されている金融資産・負債の時価評価は、企業や金融機関への直接的な影響に加え、我が国の金融システムそのものを大きく変えようとしています。

今回は、公認会計士として企業の監査実務に携わり、現在、国際会計基準委員会理事会議長を務めておられる白鳥栄一氏をお招きし、国際会計基準の設定の背景と、導入時に発生する諸課題および、企業への影響と対策についてお話し頂く予定です。

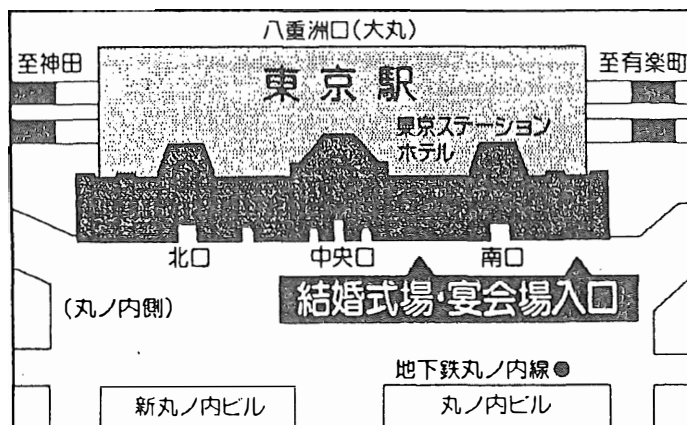
なお、財務・会計をご担当の方々へお声をかけてご参加をお勧め下さっても結構です。

日時：平成6年7月5日（火） 15:00～17:00

場所：東京ステーションホテル

〒100 東京都千代田区丸の内1-9-1 ☎03-3231-3511

[会場案内図]



現研 (株)現代経営技術研究所

東京都文京区本郷1-25-25日本歯科商連ビル
TEL03-3813-7338(代) 〒113